

**糖類;その誘導体;ヌクレオシド;ヌクレオチド;核酸** (アルドン酸または糖酸の誘導体 C07C,C07D; アルドン酸, 糖酸 C07C59/105,C07C59/285; シアンヒドリン C07C255/16; グリカル C07D; 構造不明の化合物 C07G; 多糖類, その誘導体 C08B; 遺伝子工学に関する DNA または RNA, ベクター, 例. プラスミド, またはその分離, 調製または精製 C12N15/00; 糖工業 C13) [2]

## 注

(1) このサブクラスは糖類基を含有する化合物を包含する。(下記の注 (3) の定義参照。)

(2) このサブクラスはグリコシド結合により相互に結合している糖類基を 6 個以上もつものとして規定される多糖類を包含しない。

(3) このサブクラスにおいては, 下記の表現は以下に示す意味で用いる:

— “糖類基” は非環式ポリヒドロキシアルデヒドまたは非環式ポリヒドロキシーケトンから, またはそれらの環式互変異性体から次の定義のいずれかに従って水素原子を除去するかまたは酸素への異種結合を同一数のハロゲン, 窒素, 硫黄, セレンまたはテルルへの異種結合に置き換えることにより導かれるものである:

(a) 糖類基は,

(i) 連鎖炭素骨格およびそれに直結する酸素原子から成り,

(ii) 環式構造の 1 個の炭素原子への結合ごとおよび異種原子に対する 3 個の結合をもつ炭素原子, 例. エステルまたはニトリル基, への結合ごとに停止するものとみなし,

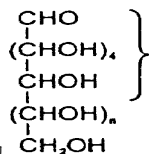
(iii) 炭素骨格内に, 多くても 6 個の炭素原子からなる次の条件を満足する非分枝連鎖を含有するものである。

条件: 異種結合として酸素原子に対する 1 個の単結合のみをもつ炭素原子を少なくとも 3 個—4 炭素骨格にあっては少なくとも 2 個有し, それ以外の炭素原子で,

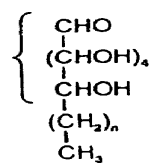
(A) 異種結合として酸素原子に対する 2 個の単結合のみをもつ炭素原子を, 環式または非環式連鎖中に, 少なくとも 1 つ有するか, または,

(B) 異種結合として酸素原子に対する 1 個の二重結合のみをもつ炭素原子を, 非環式連鎖中に少なくとも 1 個有するものである。

そして, この連鎖は, 多くても 1 個の二重結合, すなわち C=C または, 上記 (A) または (B) の異種結合のほかに, ケタール化されていてもよい C=O, をもつものである。



例. 次の化合物 酸素に対する, この注で定義した結合をもち, 多くても 6 個の炭素原子からなる非分枝連鎖



n は整数, はグループ 3/02 に分類する。[4]

(b) また, 酸素に対する特定の異種結合の多くても 4 個をハロゲン, 窒素, 硫黄, セレンまたはテルルに対する異種結合の同数個で置き換えることにより, 上記 (a) に定義されている基から導かれる基でもある。

— “複素環式基” または “複素環” は, 上記で定義した糖類基は含まれないものとする。

(4) サブクラス C07C から C07K に適用するラストプレイス優先ルールを規定するクラス C07 に続くクラス注 (3) に注意すること。[8]

(5) 化合物の治療活性は, サブクラス A61P にさらに分類する。[7]

## サブクラス内の索引

一般製造法	1/00	.....
化合物	.....	
糖類, デオキシ糖, アンヒドロ糖, オゾン	3/00	.....
アミノ糖, アザー, チオー, セレノー, テルロー類似物	5/00	..
糖エステル	11/00, 13/00	.....
糖エーテル, 配糖体	15/00, 17/00	.....
環式アセタール	9/00	.....
ヌクレオシド	19/00	.....
ヌクレオチド	19/00, 21/00	.....
核酸	21/00	.....
非環式基を含む誘導体	7/00, 13/00, 15/00	.....
炭素環式基を含む誘導体	7/00, 13/00, 15/00	.....
複素環式基を含む誘導体	9/00, 13/10, 15/26, 17/00, 19/00, 21/00	.....
ハウ素, ケイ素, または金属元素を含む誘導体	23/00	.....
このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項	99/00	.....

## ファセット分類記号

## 適用範囲 (1/00~99/00)

化学物質名または化学構造式で記載された有機低分子化合物自体の発明

1/00	糖誘導体の製造方法[2]
1/02	・ホスホリル化[2]
1/04	・・ポリリン酸基の導入[2]
1/06	・分離; 精製[2]
1/08	・・天然物からの[2]
3/00	水素原子並びに炭素, 水素および酸素原子のみからなる糖類基のみを含有する化合物 (二糖類または多糖類の加水分解による製造 C13; 蔗糖, ぶどう糖, 果糖, 乳糖または麦芽糖の分離または精製 C13) [2]
3/02	・単糖類[2]
3/04	・二糖類[2]
3/06	・オリゴ糖類, すなわち, グリコシド結合により相互に結合する糖類基を 3-5 個もつもの[2]
3/08	・デオキシ糖; 不飽和糖 (1,2-ジデオキシ-1-エノース C07D) ; オゾン[2]
3/10	・アンヒドロ糖, 例. エポキシド[2]
5/00	酸素に対する異種結合がハロゲン, 窒素, 硫黄, セレンまたはテルルに対する異種結

	合の同数個で置き換えられた糖類基を含有する化合物[2]
5/02	・ハロゲン[2]
5/04	・窒素[2]
5/06	・・アミノ糖[2]
5/08	・硫黄, セレンまたはテルル[2]
5/10	・・硫黄[2]
7/00	炭素—炭素結合により糖類基に結合する非—糖類基を含有する化合物[2]
7/02	・非環式基[2]
7/027	・・ケトアルドン酸[4]
7/033	・・ウロン酸[4]
7/04	・炭素環式基[2]
7/06	・複素環式基[2]
9/00	少なくとも 2 個の異種原子を糖類基と共有する複素環を含有する化合物[2]
9/02	・異項原子として酸素のみを含有する複素環[2]
9/04	・・環式アセタール[2]
9/06	・異項原子として窒素を含有する複素環[2]
11/00	無機酸でエステル化された糖類基を含有する化合物; その金属塩 (ハロー糖 C07H5/02; チオー, セレノーまたはテルロ—糖 C07H5/08) [2]
11/02	・硝酸エステル; 亜硝酸エステル[2]
11/04	・リン酸エステル; 亜リン酸エステル; ポリリン酸エステル[2]
13/00	炭酸またはその誘導体で, または有機酸, 例. ホスホン酸, でエステル化された糖類基を含有する化合物[2]
13/02	・カルボン酸によるもの[2]
13/04	・・非環式炭素原子に結合するエステル化されたカルボキシル基をもつもの[2]
13/06	・・・脂肪酸[2]
13/08	・・炭素環に直接結合するエステル化カルボキシル基をもつもの[2]
13/10	・・複素環に直接結合するエステル化カルボキシル基をもつもの[2]
13/12	・基—X—C (=X)—X— (X は窒素, 酸素, 硫黄, セレンまたはテルルを意味する。)をもつ酸, 例. 炭酸, カルバミン酸, またはそのハライドによるもの[2]
15/00	糖類基の異種原子に直接結合する炭化水素または置換炭化水素基を含有する化合物[2]

## 注

このグループにおいては, 糖類基の異種原子に直接結合するアシル基は置換炭化水素基とはみない。[4]

15/02	・環式構造により置換されていない非環式基[2]
15/04	・・糖類基の酸素原子に結合しているもの[2]

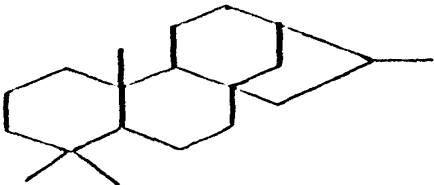
A 非環式基が炭化水素基であるもの

B	・分子中に糖類基以外の複素環式基をもつもの
C	非環式基が置換炭化水素基であるもの
D	・酸素原子で置換された基
E	・窒素原子で置換された基
F	・異種原子に対する 3 個の結合をもち, そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子, 例. エステルまたはニトリル基, で置換された基
G	糖 類 基 が 基



[X は窒素、酸素、硫黄、セレンまたはテルルを意味する] をもつもの

Z	その他のもの
15/06	・・・1 個のヒドロキシアルキル基が 1 個の脂肪酸によってエステル化されたもの[4]
15/08	・・・ポリオキシアルキレン誘導体[2]
15/10	・・・不飽和炭素—炭素結合を含有するもの[2]
15/12	・・糖類基の窒素原子に結合するもの[2]
15/14	・・糖類基の硫黄, セレンまたはテルル原子に結合するもの[2]
15/16	・・・リンコマイシン; その誘導体[2]
15/18	・炭素環で置換された非環式基[2]
15/20	・炭素環[2]
15/203	・・シクロヘキサン環以外の単環式炭素環; 二環式炭素環系[4]
15/207	・・窒素原子で置換されていないシクロヘキサン環, 例. カスガマイシン[4]
15/22	・・窒素原子で置換されたシクロヘキサン環[4]
15/222	・・・少なくとも 2 個の窒素原子で置換されたシクロヘキサン環[4]
15/224	・・・シクロヘキサン環に直接結合した 1 個の糖類基のみを有するもの, 例. デストマイシン, ホーティマイシン, ネアミン[4]
15/226	・・・シクロヘキサン環に直接結合した糖類基を少なくとも 2 個有するもの[4]
15/228	・・・糖類基の結合したシクロヘキサン環構成炭素原子が隣接しているもの[4]
15/23	・・・分子中に糖類基を 2 個有するもの, 例. アンプチロシン, ブチロシン, キシロスタチン, リボスタマイシン[4]
15/232	・・・分子中に糖類基を少なくとも 3 個有するもの, 例. リビドマイシン, ネオマイシン, パロモマイシン[4]

15/234	・ ・ ・ ・ 糖類基の結合したシクロヘキサン環構成炭素原子が隣接していないもの、例. カナマイシン, トブラマイシン, ネブラマイシン, ゲンタマイシン A <sub>2</sub> [4]	J	・ ・ ・ 分子中に糖類基を 3 個有するもの
15/236	・ ・ ・ ・ ・ 3 位が 1 個のアルキルアミノ基で置換され 4 位が水素以外の 2 個の置換基で置換された糖類基を 1 個有するもの、例. ゲンタマイシン複合体, シソマイシン, ベルダマイシン[4]	K	・ 17 員以上のラクトン環を含有するもの
15/238	・ ・ ・ 2 個のグアニジン基で置換されたシクロヘキサン環、例. ストレプトマイシン[4]	L	複素環式基が 3 個以上の複素環を含有するもの
15/24	・ ・ 3 個以上の環をもつ縮合環系[2]	Z	その他のもの
15/244	・ ・ ・ アントラキノン基、例. センノシド[4]	19/00	1 個の異項原子を糖類基と共有する複素環を含有する化合物; スクレオシド; モノスクレチド; それらのアンヒドロ誘導体[2, 4]
15/248	・ ・ ・ コルヒチン基、例. コルヒコシド[4]	19/01	・ 酸素を共有するもの[4]
15/252	・ ・ ・ ナフタセン基、例. ダウノマイシン, アドリアマイシン[4]	19/02	・ 窒素を共有するもの[2]
15/256	・ ・ ・ ポリテルペン基[4]	19/04	・ ・ 異項原子として窒素のみを含有する複素環式基[2]
		19/044	・ ・ ・ ピロール基[4]
A	骨格を有するもの、例. ステビオサイド, リバウデオサイド	19/048	・ ・ ・ ピリジン基[4]
Z	その他のもの	19/052	・ ・ ・ イミダゾール基[4]
15/26	・ 複素環で置換された非環式または炭素環式基[2]	19/056	・ ・ ・ トリアゾールまたはテトラゾール基[4]
17/00	糖類基の異種原子に直接結合する複素環式基を含有する化合物[2]	19/06	・ ・ ・ ピリミジン基[2]
17/02	・ 異項原子として窒素のみを含有する複素環式基[2]	19/067	・ ・ ・ ・ 糖類基としてリボシルを有するもの[4]
17/04	・ 異項原子として酸素のみを含有する複素環式化合物[2]	19/073	・ ・ ・ ・ 糖類基として 2-デオキシリボシルを有するもの[4]
17/06	・ ・ ベンゾピラン基[4]	19/09	・ ・ ・ ・ 糖類基としてアラビノシルを有するもの[4]
17/065	・ ・ ・ ベンゾ [b] ピラン[4]	19/10	・ ・ ・ ・ リン酸またはポリリン酸でエステル化された糖類基を有するもの[2]
17/07	・ ・ ・ ・ ベンゾ [b] ピラン-4-オン[4]	19/11	・ ・ ・ ・ ・ 環状リン酸エステルを含有するもの[4]
17/075	・ ・ ・ ・ ベンゾ [b] ピラン-2-オン[4]	19/12	・ ・ ・ トリアジン基[2]
17/08	・ ・ 8 個以上の環原子を含有する複素環、例. エリスロマイシン[2]	19/14	・ ・ ・ ピロール-ピリミジン基[2]
A	複素環式基が 1 または 2 個の複素環を含有するもの	19/16	・ ・ ・ プリン基[2]
B	・ 14 員のラクトン環を含有するもの	19/167	・ ・ ・ ・ 糖類基としてリボシルを有するもの[4]
C	・ 16 員のラクトン環を含有するもの	19/173	・ ・ ・ ・ 糖類基として 2-デオキシリボシルを有するもの[4]
D	・ ・ ラクトン環に直接結合した糖類基を 1 個のみ有するもの	19/19	・ ・ ・ ・ 糖類基としてアラビノシルを有するもの[4]
E	・ ・ ・ 分子中に糖類基を 1 個のみ有するもの	19/20	・ ・ ・ ・ リン酸またはポリリン酸でエステル化された糖類基を有するもの[2]
F	・ ・ ・ 分子中に糖類基を 2 個有するもの	19/207	・ ・ ・ ・ ・ リン酸またはポリリン酸が更に 1 個のヒドロキシル化合物によってエステル化されたもの、例. フラビン-アデニンジヌクレオチド, ニコチンアミド-アデニンジヌクレオチド[4]
G	・ ・ ラクトン環に直接結合した糖類基を 2 個有するもの	19/213	・ ・ ・ ・ ・ 環状リン酸エステルを含有するもの[4]
H	・ ・ ・ 分子中に糖類基を 2 個有するもの	19/22	・ ・ ・ プテリジン基[2]
		19/23	・ ・ ・ 相互に縮合した、または炭素環系を共有して縮合した 2 個以上の複素環を含有し、グループ C07H19/14-C07H19/22 に分類されない複素環式基[4]
		19/24	・ ・ 異項原子として酸素または硫黄を含有

## C 0 7 H

- する複素環式基[2]
- 21/00   ヌクレオシドの糖類基が結合しているリン酸またはポリリン酸エステルを, それぞれ別々に有する 2 個以上のモノヌクレオチド単位を含有する化合物, 例. 核酸[2]
- 21/02   ・糖類基としてリボシルを有するもの[2]
- 21/04   ・糖類基としてデオキシリボシルをもつものの[2]
- A   製造方法に特徴を有するもの
- B   遺伝子工学に関係したもの, 例. 化学合成法を用いて得た, DNA をプローブとして使用するもの
- Z   その他
- 23/00   ホウ素, ケイ素, または金属を含む化合物, 例. キレート, ビタミン B<sub>12</sub> (無機酸とのエステルC07H11/00; 金属塩は母体化合物を参照) [2]
- 99/00   このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項[8]